

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					2026 年 4 月 1 日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3		・活動内容や利用状況に応じて、机を片付けたり、使用する部屋を変更したりするなど、限られたスペースを有効に活用できるよう工夫して	・利用人数に応じた環境設定を工夫していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	1	・朝礼等で当日の利用状況や職員配置について確認し、必要に応じて職員間で連携しながら対応している。	・送迎時間帯においても、安全に支援できる職員体制を確保できるよう、職員配置や連携体制を工夫していく。	
	3	事業所の設備等について、合理的配慮適切になされているか。	6	2		・遊具や設備の状態を確認し、安全に使用できるものを活用して活動を行っている。	・現在使用できていない遊具について、安全面を確認しながら、修繕や環境整備を進めている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8					
	5	保護者向け評価表やアンケート調査を実施し業務改善につなげているか。	8					
	6	この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページで公開しているか。	5	3				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2				
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8					
	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者のニーズや課題を把握し個別指導を行っているか。	7	1				
適切な 支援の 提供	10	児童の適応行動の状況を図る為のアセスメントツールを使用しているか。	7					
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	8				
	12	活動内容が固定化しないよう工夫しているか。	6	2				
	13	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み分けて支援できているか。	6	2		・児童の状況や利用人数に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせながら支援を行っている。	・時間や利用人数によって個別活動の機会が少なくなることがあるため、児童の状況に応じて個別に取り組める時間を確保できるよう工夫し	
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	7	1				
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3		・当日の振り返りが難しい場合は、後日のミーティング等で支援内容や気付いた点を共有している。	・勤務体制により、支援終了後に職員間で振り返りを行うことが難しい日があるため、日々の情報共有の方法や時間の確保について工夫していく。	
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1				
	17	定期的にモニタリングやケース会議に参加し、サービス計画の見直し、必要性を判断しているか。	7		1			
関	18	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	2				
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか。	7	1				
	20	保育園や学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整を適切に行っているか。	7	1				
	21	医療ケアが必要な児童を受け入れる際は、児童の主治医等と連絡体制を整えているか。	3	2	3			

保護者との連携	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1			
	23	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか。	5	1	2		
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		4	・外出活動等を通して、地域との関わりを持つ機会を取り入れている。	・長期休暇等を活用し、地域のこどもの交流や学校・地域で行われる行事への参加など、地域交流の機会を増やしていく。
	25	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	3		
	26	子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8				
	27	家族の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか。	4	2	2		
保護者への説明等	28	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか。	8				
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催し保護者同士の連携を支援をしているか。	2	2	4		
	31	苦情について対応体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、迅速且つ適切に対応できているか。	7	1			
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		1		
	33	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8				
非常時等の対応	34	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		4	・地域で行われる行事や活動について情報収集を行い、地域との関わりを持てる機会を検討している。	・地域住民との交流の機会が少ないため、事業所の行事への招待や地域行事への参加など、地域とのつながりを持てる機会を増やしていく。
	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知しているか。	6	2			
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難救助等の必要な訓練を行っているか。	7	1			
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1			
	39	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	1		
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	7	1			